



福良ヶ丘小だより

第6号

臼杵市立福良ヶ丘小学校

令和7年5月20日

発行者 木下 裕章

ふれあい班で体力テスト

5月15日(木)にふれあい班で体力テストを行いました。ふれあい班は1年生から6年生のたて割り班で、6つの班にわかれて活動しました。反復横跳び・立ち幅跳び・長座体前屈・上体起こし・握力・ボール投げの6種目に班ごとに取り組みました。6年生がリーダーとなり、班のメンバーに声かけを行い、引っ張っていく姿をたくさん見ることができ、本当に頼もしかったです。また班での活動は上学年と下学年の二人一組で行うので、コツを教えたり、励まし合ったり、一生懸命取り組む姿が見られました。

終わりの会では、「記録が伸びてよかった」「チームで行動していてよかった」「みんな全力を出し切っていてよかった」「目標や平均を超えることができてよかった」と感想を伝えていました。全校で「励まし合い」「教え合い」「助け合い」「認め合い」、スローガンの「つむぎあい」を深めるよい活動になりました。



活動しているようす



避難訓練

5月14日(水)に避難訓練を行いました。今回は、地震発生における安全の確保、避難経路の確認とグラウンドへの1次避難、津波警報発令による屋上への2次避難をしました。

子どもたちは、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を意識して、安全にすばやく避難を行っていました。

災害に対する訓練は日ごろから行い、もしもの時に備えておくことが大切です。家庭でも防災について話をしてみてください。



避難訓練のようす



大分教育事務所学校訪問

5月14日(水)大分教育事務所による学校訪問が行われました。事務所から溝口所長、安東次長ら5名が訪れ、5・6年の授業参観、学校運営(重点目標)や授業改善、学校における働き方などについて協議を行いました。教育事務所担当者による感想や意見は以下のとおりです。

- 明るい環境の中、子どもが一生懸命学ぶ姿を見ることができた。
- 主体的で対話的な授業を観ることができた。入念な授業準備の成果であり、深い学びができています。
- コミュニケーション能力は力がついてきていると感じた。
- 先生が子どもと対話しながら授業を実践している。一緒に授業を創っていると感じた。
- 創輪タイムの対話重視はとてもいい。

また、「コミュニケーション能力(伝える力・受け止める力)の子どもの姿を明確にして、よりよい対話活動にしてほしい」とご助言をいただきました。

今回、子どもたちの姿を見てもらい対話活動を評価していただきました。2学期の学校訪問では、よりコミュニケーションする子どもの姿を見せていきたいです。



学校訪問のようす

